

2024～2025 年度
RI 会長テーマ

THE MAGIC OF ROTARY
ロータリーのマジック

豊橋北RC
会長テーマ

親睦の和を育み、奉仕の輪を広げよう

2760 地区

例会日＝毎週火曜日 12:30 例会場＝ホテルアークリッシュ豊橋 会長 八木基之 副会長 渡辺康二 幹事 河合成高

豊橋北ロータリークラブ 〒440-0075 豊橋市花田石塚 42-1 豊橋商工会議所内 TEL(0532)53-1000 FAX(0532)53-6447

第 3 2 1 7 回例会

6 月 17 日〈火〉

vol. 69 No. 36

ゲ ス ト : シャンディガフ (Vo. 長野祐弥さん Vo. 花井愛さん Pf. 牧野美穂さん)
ハサン モハammad タンヴィル君 (米山奨学生)・アルファロ フェレイラ君 (サンクス奨学生)
ビ ジ タ ー : 豊橋ゴールデン RC (3 名)・豊橋東 RC (1 名) 以上 4 名 (サイン人数)
出 席 報 告 : 会員 62 名 欠席 17 名 出席率 72.58% 前々回修正 96.36%
ロータリーソング: それでこそロータリー メニュー: 洋中折衷

会長挨拶・報告

八木基之会長



初めに本日のゲストを紹介いたします。シャンディガフの長野祐弥さん、花井愛さん、牧野美穂さん。シャンディガフの皆さんには第 2 部で演奏をしていただきます。米山奨学生のハサン モハammad タンヴィル君、サンクス奨学生のアルファロ フェレイラ君。以上の皆さんです。

まず、「第 40 回米山功労クラブ」の感謝状が届きましたのでご報告いたします。米山功労クラブはクラブからの寄付の累計額が 100 万円を超えるごとに表彰される制度です。今回は通算 40 回目の表彰となり、これは長年にわたり先輩方から連なるご貢献の賜物です。日頃からの皆さまのご協力に感謝申し上げます。

先週末、RI 会長エレクトのブラジルのマリオ・デ・カマルゴ氏から個人的・ビジネス面の懸念により辞任の申し出があり、RI 理事会はイタリアのフランチェスコ・アレツツォ氏を 2025-26 年度 RI 会長に指名し、受諾されたというニュースがありました。RI 会長就任直前の交代劇は異例のことで、大変驚きました。次年度の RI 会長メッセージは発表されていた「よいことのために手を取りあおう」が引き続き使用されるそうです。

本日、2024-25 年度の最終例会を迎えることとなりました。今年度のテーマ「親睦の和を育み、奉仕の輪を広げよう」に基づいて事業を組み立てたつもりでしたが、振り返ってみると、どの程度達成できたかは正直、自分自身よくわからないところです。ただそれは別にしても、この一年間で私は会長として得難い経験をさせていただいたと思っています。

昨年 6 月、年度始まり直前の豊橋少年軟式野球選手権大会では、大勢のギャラリーの前で始球式のピッチャーを務めさせていただきました。何十年ぶりの投球で緊張しましたが、気持ちよく投げることができました。年度終わりの 5 月にはモンゴルミッションに参加させてもらい、なかなか訪れる機会がない土地に行き、貴重な経験することができました。また、毎回の例会での拙い会長あいさつは、当初は話のネタが尽きることを恐れておりましたが、実際には話題に困ることはなく、伝えるべきことをお伝えすることができたのではないかと考えております。

私が思うロータリーの魅力は、「素晴らしい人と出会い、そしてその人から学び、刺激を受ける。そしてまたそれを他の人に伝えていく」ということです。「ロータリーの魅力」、すなわち「ロ

ータリーは出会いの場」だと、私自身は認識しています。

この一年間、素敵な出会いがたくさんありました。新入会員の皆さん、卓話に来ていただいた講師の方々(私の視野を広げてくれた方々)、クラブ外の様々な場で出会った分区分・地区の他クラブの役員の皆さん、米山奨学生・サンクス奨学生の皆さん、モンゴルで出会った方もいます。

そして一年間、ご理解ご協力をいただきました会員の皆さんにはたいへんお世話になり有難うございました。特に役員理事の皆さんには感謝しかありません。河合幹事には私の足りないところを助けていただき、とても頼りにしていました。渡辺副会長、山内会計には高所大所から様々なアドバイスをいただきました。とくに新 HP の開設には山内会計の多大なお力添えがありました。石川 S.A.A. には増強委員長としても大活躍していただきました。高坂エレクト、川口副幹事には、積極的に理事会にコミットしていただきました。とくに川口副幹事には Facebook への投稿を全て担当していただきました。

各委員長さんには、知恵を絞って個性のある例会を企画してもらい、しっかり役割を果たしていただきました。竹川さんには常に頼りになる事務局として頑張っていただきました。皆さんには一年間本当にお世話になり有難うございました。これで終わりではありませんので、これからも引き続きお付き合いをよろしくお願い致します。

本日のプログラムは、第 1 部で各委員長より年間活動のご報告をしていただき、この一年間を振り返ってまいります。続く第 2 部は音楽ユニット・シャンディガフによる「ピアノと男女ツインボーカルでお届けする名曲」で、心和むひとときを用意いたしました。一緒に楽しい時間を過ごせればと願っております。

以上、最終例会にあたっての会長あいさつとさせていただきます。本日もよろしくお願い致します。

【退会挨拶】

大石佳史会員



一身上の都合により 6 月末をもって退会することにいたしました。前回の例会で私の父と大変仲の良かった鈴木茂久会員が退会のご挨拶をされ、また同期の幹事だった豊橋 RC の山本光伸会員がビジターとして参加されていました。これにも何かしらのご縁を感じています。

現在のクラブ旗は私が幹事を務め

ておりました佐藤元英会長年度、創立 60 周年の時に新しく作ったもので、シルク 100%でできています。実は純正品ではありません。今のロータリー旗は殆どがポリエステル製ですが、シルク 100%で旗を作ろうとすると、真ん中に縫い目ができてしまいます、それが格好悪いということで、手を尽くして縫い目のないシルク 100%のロータリー旗を作ったというのが私の誇りです。

私は豊橋北 RC が大好きです。入会してから 16 年弱、皆様には色々可愛がっていただき、本当にありがとうございました。

幹事報告

河合成高幹事

①豊橋 RAC より 7 月第一例会(7/2)、第二例会(7/10)のご案内がありました。

一年間幹事を務めさせていただき、至らぬところもあったかと思いますが、ご容赦頂ければ幸いです。ロータリーについてより勉強させていただき、大勢の方と更に深いお付き合いをすることができたことを大変嬉しく思っています。一年間、ありがとうございました。

例会変更

7 月 4 日(金) 蒲郡 RC

例会休会

なし

委員会報告

ロータリー財団委員会

村田裕委員長

松井幹晴会員より 180 ドル、橋本努会員より 100 ドルの寄付がありました。ありがとうございました。

米山記念奨学委員会

大石佳史委員長

松井幹晴会員、橋本努会員より 1 万円の寄付がありました。ありがとうございました。

豊橋北 RC 奨学金基金

田崎政秀委員長

八木基之会員、河合成高会員、橋本努会員、辻直樹会員、藤城寿彦会員より 1 千円の寄付がありました。ありがとうございました。

25-26 年度理事会

川口和樹副幹事

今回の例会は 7/1 の 25-26 年度初例会です。高坂年度の運営方針について説明をさせていただきます。

ニコニコボックス

酒井和良会場副委員長

西田雅久会員	6/10(火)、セブンイレブン記念財団より 530 運動環境協議会へ 50 万円の寄付を頂きました。
山内有恒会員	昨日のフォローアップ研修会で私の早口なおしゃべりにお付き合いいただいた皆さん、ありがとうございました。帰宅後、サンクス大使のクリスチンから、博士論文は順調に進んでおり、8 月には最終発表の為に技科大に来るとのメールが来ていました。
大石佳史会員	6/30 をもちまして退会させていただくことにいたしました。16 年弱の間、大変お世話になりました。
渡辺康二会員	先日娘が男の子と女の子の双子を出産しました。これで孫が 8 人になりました。
吉村伸一会員	早いもので入会させていただいてから一年が経とうとしています。いつもご迷惑をお掛けするばかりで、何のお役にも立てていないことが

	心苦しいです。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。
2024-25 年度理事会一同	本日は最終例会です。各委員長の事業報告と、シャンディガフによる演奏と歌で最後を締めます。皆様、一年間色々ご協力ありがとうございました。

【乾杯】

高坂泰弘会長エレクト



最終例会を迎えたということは、いよいよ次は私の番ということになります。エスケープしたい気分なのも確かではあります。皆さんご存知の通り、八木会長は決して怒らない方です。顔を歪めたこともありません。八木会長が幹事を務めていた時は副幹事として、今回は会長エレクトとして、傍らで観察させていただきました。その分、

河合幹事が喜怒哀楽をストレートに表すということで、バランスが取れていたのではないかと思います。お二人とも 3 年のスパンでクラブ戦略委員を務めていただきますので、まだまだ重責が続きますが、とりあえずはここで一つのフィナーレを迎えたということで、それを祝して乾杯をさせていただきたいと思います。八木丸帰還、おめでとうございます。乾杯！

【本日のプログラム】

担当：理事会・親睦活動

【1 年間の感謝を込めて

～親睦の和を育み、奉仕の輪をひろげよう！

河合成高幹事



本日の最終例会は、第 1 部では一年間ご活躍いただきました各委員長より年間活動報告ををさせていただきます。第 2 部ではシャンディガフの皆さんによる音楽をお楽しみいただきます。それではよろしくお願いいたします。

【第 1 部：年間活動報告】

杉野公郎職業奉仕委員長



職業奉仕委員会の最初の例会は 8/27 の職場訪問例会で、ラグーナテンボスの「変なホテル」で開催しました。台風が心配される中での開催でしたが、出席予定の会員の方には全員参加していただくことができ、感謝しております。

10/22 のクラブフォーラムでは納棺体験を行いました。2/4 の例会は会員卓話で、小杉幸一郎会員、山本和正会員に個性あふれるスピーチをしていただきました。

5/27 の例会では「ほめる」をテーマとして、ほめる達人の氷見幸也氏にお話をさせていただきました。ほめるということは正のスパイラルで相乗効果を生み良くなっていくということをお話ししていただきました。ヨコではなくタテでほめることが重要であるというお話もありました。

一年間ありがとうございました。



小林利生社会奉仕委員長

皆さんのご協力のお陰で、一年間委員長を務めることができました。ありがとうございました。1回目の例会では「こども食堂」をテーマに名古屋南RCに所属されているカネハツ食品㈱の加藤英敏社長にお話をいただきました。かなりリアルな感覚で実情をとらえていただけたのではないかと

と思います。この時には寄付も募らせていただき、多くのご寄付をいただくことができました。加藤社長も非常に感謝されていたので、改めてお礼申し上げます。

2回目の例会の会員卓話では、河合芳光会員のアメリカ横断のお話、谷山勉会員は期せずして大会のご挨拶を兼ねたお話をいただきました。お話をきっかけに会員の方の人となりを知り、親睦の和を広げることにつながる一助になったのではないかと思います。

3回目のフォーラムはLGBTがテーマでした。最初は講師の方にZOOMでお話をしていただく予定でしたが、実際に来ていただいた方が良いということになり、女性として生まれ、男性としての性自認を持つ山口颯一氏を東京からお招きし、色々と印象深いお話を伺うことができました。LGBTの方の割合は潜在的なものも含めて、AB型の人や左利きの人と同じくらいの割合だということでした。それだけ身の回りには様々な人がいて、そういった人達を受け入れるということが非常に大切な時代になってきたと思います。私が東京で就職した時に、最初に色々と気にかけてくれた方がゲイの方でした。そういったこともあり、私自身は全く偏見を持っていません。その人自身が面白い人ならウェルカムといった感じです。興味深い話が聞けるのではないかと考えて、この様なテーマとさせていただきます。

4回目は社会奉仕委員会定番の530例会でした。大勢の方にご協力いただき、感謝しております。基本的には昨年度の内容を踏襲した形で、私自身はあまり考えずに済んだのですが、終わった後には達成感がありました。やはり人が実際に動いて何かをするということは大事だと感じました。何名かの方には収集したゴミの始末までお付き合いしていただきました。その中には大石会員もいらっしやいまして、最後の最後までそのようなスタンスで例会に臨んでいただき有難いと感じました。

一年間色々とお世話になりました。皆さんのご協力に本当に感謝しております。ありがとうございました。



田崎政秀国際奉仕委員長

今年度の国際奉仕委員会では、八木会長のテーマである「親睦の和を育み、奉仕の輪をひろげよう」に沿って3回の例会と1回のクラブフォーラムを開催いたしました。1回目の例会では米山奨学生のハサン モハammad タンヴィル君、2回目の例会ではサックス奨学生2年目のイルハム ザキ ビン モハンマド

ダウド君にスピーチをしていただきました。自分の国、家族、宗教、食事などを紹介していただく中で、その国について、そして奨学生本人について知り、よりスムーズに親睦を深めていくことができるのではないかと考え、例会を企画させていただきました。イルハム君は3月に奨学期間を終了されましたが、ハサン君は来年の3月までが奨学期間となります。この時のお話を基に、更に親睦を深めていただければと思います。

3回目のフォーラムでは、サックス奨学制度設立の際にご尽力いただいた豊橋技術科学大学の林攀梅先生にお越しいただきました。また、技科大の学長に就任されたばかりだった若原昭浩新学長にもお越しいただき、お話をさせていただきました。サックス奨学生の受け入れの実績に対して、記念の楯も頂いております。奨学生の受け入れという部分でも、技科大とは今後もつながりが続いていくかと思えます。

4回目の例会は先週のモンゴルミッション報告です。残念ながら私はモンゴルへ行くことができませんでしたので、石川 S. A. A. に報告をしていただきました。石川 S. A. A. は2019-20年度、国際奉仕委員長を務めていらっしやたときの思いが非常に強く、コロナ禍以降、念願かなってのモンゴルミッションということで、私は委員長でありながら、例会をほぼ石川 S. A. A. にお任せしてしまいました。当クラブからは10名の有志の方がモンゴルを訪問し、それぞれ報告をしていただきました。

一年間、国際奉仕委員長を務めさせていただき、色々な方とのつながりができました。奨学生の皆さんとも色々な話をすることができました。ただ、考えていた食事会を開催することができなかったことは、一つ心残りです。皆さんのお陰で一年間、委員長を務めることができました。ありがとうございました。



橋本努青少年奉仕委員長

本年度、初めて委員長を務めさせていただき、周りの皆さんに助けていただきながらなんとか一年間を終えることができました。

1回目の例会は発達障害のあるお子さんの支援について、名古屋学芸大学の中島卓裕先生にお話をいただきました。視覚体験シミュレーターの

映像を通して、彼らがどのような世界を見て、どのように感じているのかを疑似体験し、当事者の行動の背景や私達との間のギャップを学びました、発達障害についての理解を深め、支援の在り方を考える機会とすることができたのではないかと思います。

2回目のフォーラムでは、私達の生活にも浸透してきている生成AIについて、豊橋創造大学の中澤陽平先生に実演を交えながらお話をいただきました。その中でフェイクニュースについてのお話があり、単語を入れるだけでフェイク画像が簡単に作られてしまうという現状についても実演していただきました。生成AIの可能性と共に、危険性についても考えさせられるお話しだったと思います。

3回目は現役プロライダーの大神智樹選手をお招きして、次世代育成の課題と未来というテーマでお話をいただきました。日本と海外の環境の違いや、世界選手権への挑戦を通して感じた経験、教訓を基に、青少年が夢を追いかける意義やそのプロセスについて熱いメッセージを伝えていただけたのではないかと思います。モータースポーツの魅力や楽しさについてもご紹介いただきました。

4回目の会員卓話では、岡本敏幸会員、熊田嘉一郎会員にご登壇いただきました。お仕事に関する専門的なお話やロータリークラブでの経験、そして趣味や個人的な興味などについてお話をさせていただきました。お二人の人となりを知ることができ、楽しい時間を共有することができたのではないかと思います。

最後にRYLAセミナーへの参加についてご報告いたします。当クラブからの推薦で、私の娘である高校1年生の橋本美空が参加させていただきました。リーダーシップをテーマとして、2日間泊りがけのプログラムに取り組みました。リーダーシップというと、皆の前に立って強い言葉でグループを引っ張るといったイメージがありますが、開校式で吉川公章ガバナーは「グルー

プの中で自分の役割を見つけ、その役割を全うするというのもリーダーシップの一つである」と述べられていました。娘も他の参加者の皆さんとプログラムに取り組み、楽しかったと言っていました。若い世代が真剣に取り組む姿に、私も刺激を受けました。RYLA セミナーというのは本当に有意義なプログラムだと感じました。

一年間貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。次年度の活動につなげていくことができるように頑張ります。



松井幹晴親睦活動委員長

親睦活動委員会の第1回目の例会は納涼例会でした。外へ出て皆で一つの目的に対して盛り上がりとうことで、バンテリンドームナゴヤで中日ドラゴンズVS阪神タイガース戦を観戦しました。大変白熱した試合で、結果的にドラゴンズも快勝し、大変盛り上がりしました。道中のバス

の中も盛り上がっていて良い企画だったと思います。

年末家族会では、沖縄の文化に触れようということで、三線のアーティストをゲストに及びました。これも皆さんと一緒に大変盛り上がりしました。新年初例会は年始は厳かにゆっくりとスタートしようということで、バイオリンとピアノのコンサートで楽しんでいただきました。4月の春の家族会です。伊豆日帰り旅行となりました。当日は大変な大雨となってしまいましたが、何とか遂行できました。

親睦例会にはベテランの会員の皆さん、そして今年度は特に新しい会員の皆さんに多く参加していただくことができました。バランスをとって皆さんに喜んでいただけるような企画を考えるように心がけましたが、難しい部分もありました。年度当初、八木会長は「充実した親睦活動が良質な奉仕活動を生む」と仰っていました。それを肝に銘じてやってきたつもりですが、至らぬ点もあったことと思います。フレッシュな会員も増えたことですので、これから続く豊橋北RCの親睦活動がますます発展していくようにサポートしていきたいと思います。一年間ありがとうございました。



酒井和良会場副委員長

下山暢子会場委員長がお休みですので、メッセージを代読させていただきます。

「委員長として全ての例会に出席できず、大変恐縮しております。副委員長をはじめ、委員会の皆様には、本当にお世話になり、心より感謝申し上げます。また多数の新入会員の方も、不慣れな受付業務を一生懸命こなしていただき、感謝申し上げます。会場委員会の役割の急な変更や、新たな仕事としてFacebookの写真撮影などがあり、戸惑うこともありました。会員同士、またビジターの皆様が過ごしやすく、親しみやすい例会を行えたと思います。一年間ありがとうございました」

今年度は大勢の新会員の方が入会されました。新会員の方には会場委員として、例会場へ早い時間から来ていただき、受付の業務をこなしていただきました。また、橋本努会員も毎回早くから例会場に来てくださり、会場委員会のお手伝いをしてくださっていました。本当にありがとうございました。

反省点として、新会員の方には時間が来たら各テーブルにつ

いていただいて、全体を早く知ることができるようにするという配慮が足りなかったという点があります。次年度はこの様なことが無いように改善できればと思います。一年間ありがとうございました。

【第2部：ピアノと男女ツインボーカルでお届けする 邦楽、洋楽の名曲】 シャンディガフ



監修・発行	会場委員会
写真撮影	会場委員会